

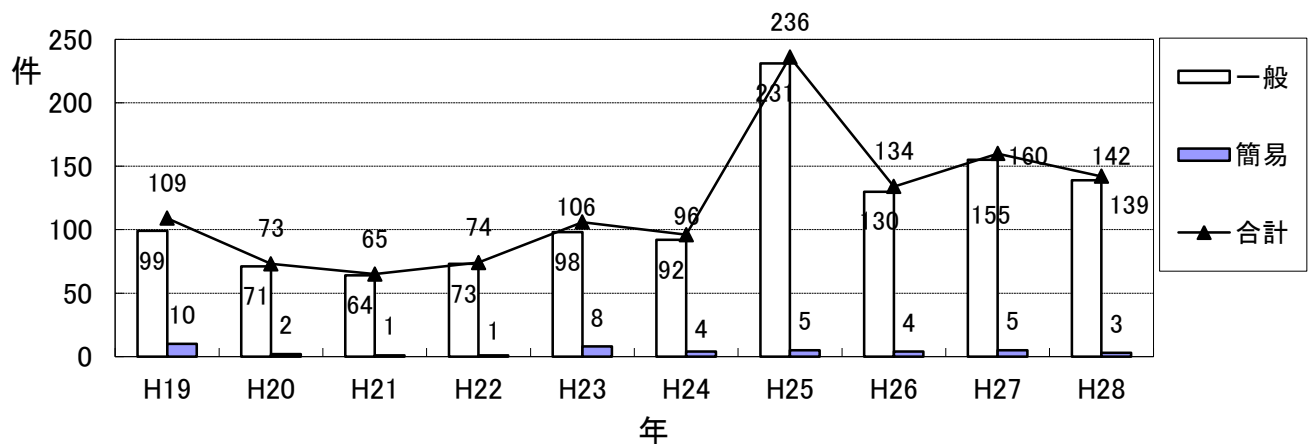
近畿支部管内におけるガス事業関係の事故発生状況（平成28年）

平成29年5月

中部近畿産業保安監督部近畿支部 保安課

※本資料は平成28年におけるものであるため、事業類型の呼称は改正前のガス事業法による。

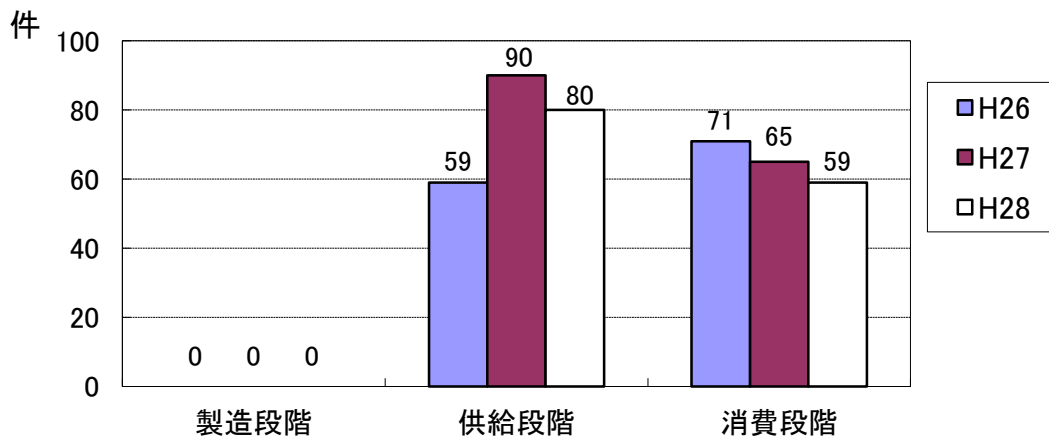
一般ガス事業、簡易ガス事業の事故発生件数の推移



- ・平成28年は、142件のガス事故が発生した。前年と比較して一般ガス事業で18件（11%減）、簡易ガス事業では2件の減少となった。

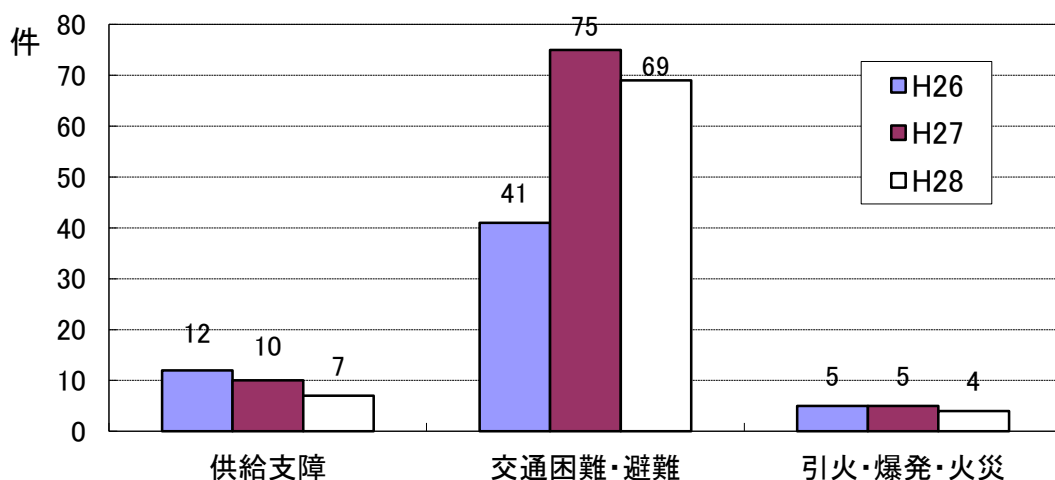
【一般ガス事業】

1. 一般ガス事業の段階別発生状況



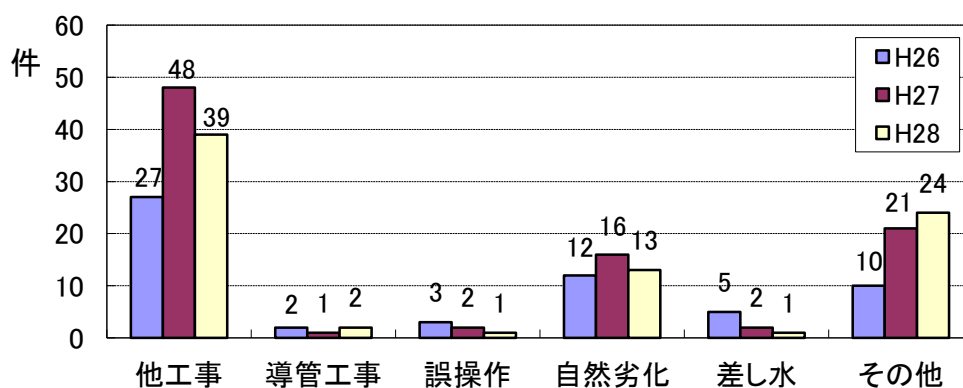
- ・平成28年の段階別発生状況は、「供給段階」で80件の事故が発生しており、前年と比較して10件（11%減）の減少となった。また、「消費段階」での事故は59件発生しており、前年より6件（10%減）の減少となった。

2. 一般ガス事業の供給段階における事故種別発生状況



- ・平成28年の供給段階の事故種別発生状況は、「供給支障」の7件のうち、2件は事業者の責任（ガス管工事における作業手順の誤り、施工不良）で発生しており、前年と比較して3件（30%減）の減少となった。
- ・「交通困難・避難」では、ガス漏えいに伴う2次災害防止のため、消防・警察による交通規制や避難指示をしたものとして69件の事故が発生しており、前年と比較して6件（8%減）の減少となった。

3. 一般ガス事業の供給段階における事故原因別発生状況



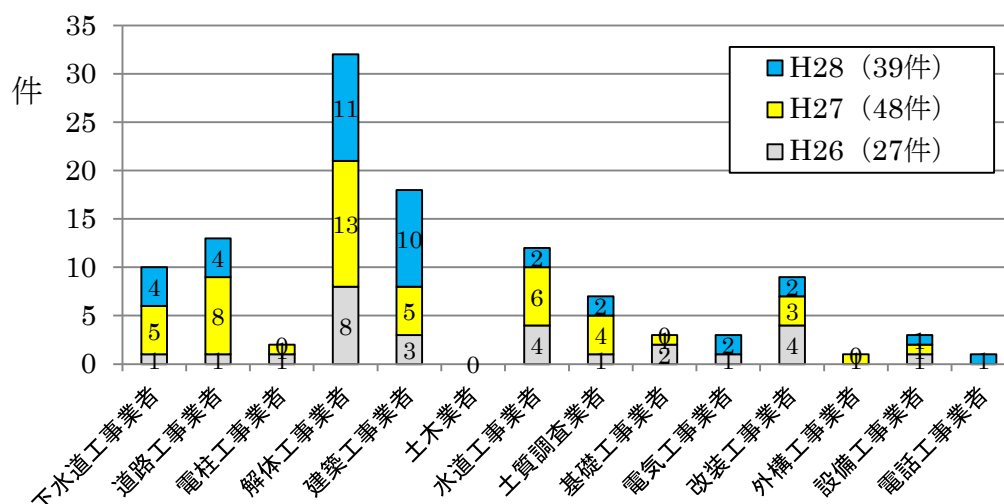
- ・平成28年の供給段階の事故原因別発生状況は、「他工事」で39件の事故が発生しており、前年と比較して9件（19%減）の減少となった。また過去3年間における供給段階の事故原因では、他工事によるものが114件と全体の50%を占めている。
- ・その他では自動車のガス管への衝突が目立っており、平成27年は21件中10件、平成28年は24件中11件発生している。

4. 一般ガス事業の現象別にみた他工事事故件数の推移（単位：件）

	H26	H27	H28
他工事事故件数	27	48	39
（照会有）	（6）	（18）	（9）
（照会無）	（21）	（30）	（30）
供給支障	3	5	3
中毒・酸欠	0	0	0
火災・負傷	2	3	3
交通困難・避難	22	40	33

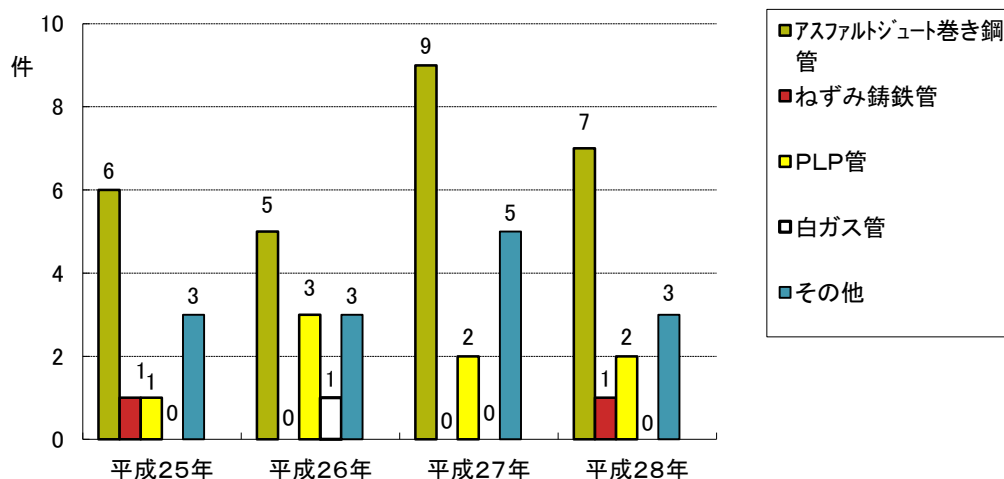
- ・平成28年は、他工事事故が39件発生し、そのうち30件（77%）は事前照会が無かったものである。
- ・事前照会があったにもかかわらず事故に至ったものは9件あり、内容は連絡なしに事前着工したものや他工事業者内での連絡不備等となっている。

5. 一般ガス事業の他工事事故における工事業者別内訳



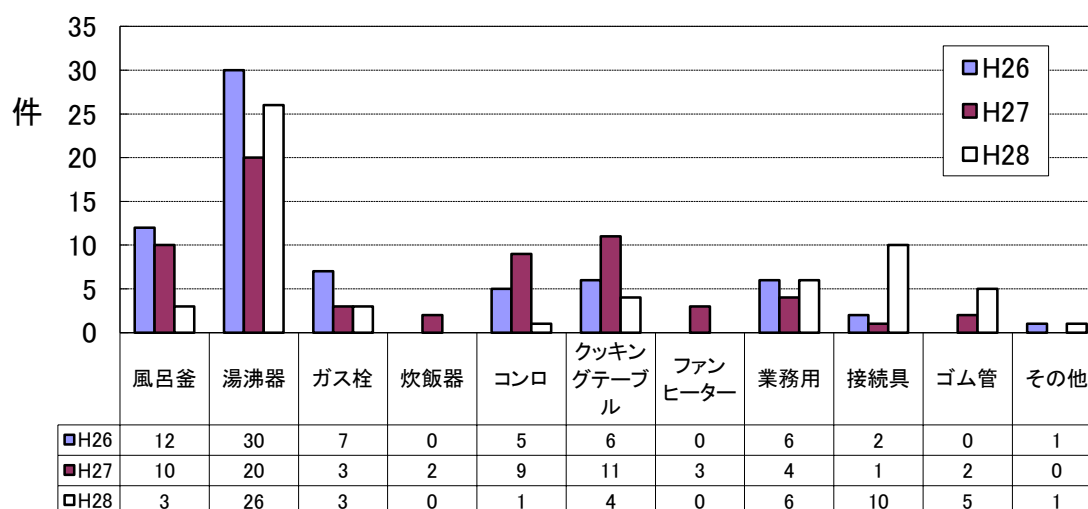
- ・平成28年の他工事事故は、解体工事業者及び建築工事業者で多く発生している。
- ・過去3年間の他工事事故においても、解体工事業者、建築工事業者で多く発生している。

6. 一般ガス事業の供給段階事故原因の自然劣化に係る管種別発生状況



- ・自然劣化による事故発生において、管種ではアスファルトジュート巻き鋼管が最も多く発生している。
- ・平成28年のPLP管の2件については、いずれも継手部分の緩みによるものである。

7. 一般ガス事業の消費段階における消費機器別発生状況



- ・平成28年に事故発生の多かった消費機器としては、湯沸器及び接続具であった。
- ・業務用では6件発生しており、内訳はパン焼きオーブン、焼き肉用クッキングテーブル、コンロ、麺茹で器、ピザ釜及びタオル蒸し器（各1件）であり、負傷（軽火傷）2件、CO中毒（軽傷）1件の被害が生じている。

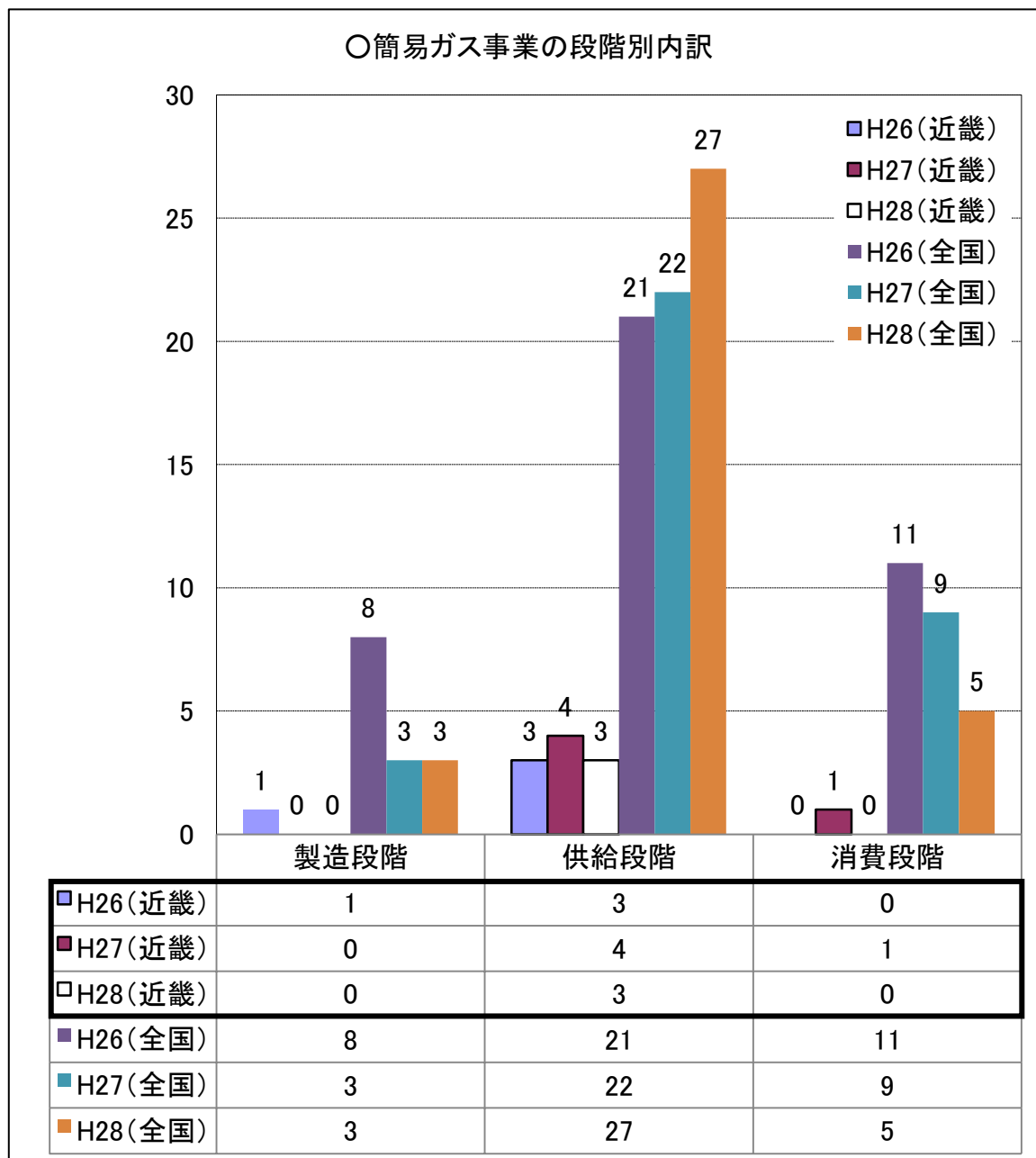
8. 一般ガス事業の消費段階における原因別発生状況

	H26	H27	H28	合計
消費者の理解不足や誤使用等に起因する事故	30	38	30	98
維持管理不備	15	22	10	47
経年劣化	8	12	8	28
内部腐食	1	4	1	6
汚れ等	2	3	0	5
その他	4	3	1	8
ガス栓誤開放	11	5	2	18
接続不良・接続不完全	4	8	14	26
不適切使用（点火操作ミス・使用ミス）	0	3	4	7
CO中毒	3	1	1	5
その他	38	26	28	92
作業ミス	5	3	1	9
養生シート覆い	7	7	7	21
リコール等	20	11	10	41
その他	5	3	5	13
不明（調査中を含む）	1	2	5	8

- ・平成28年の事故原因は、前年に比べ維持管理不備（経年劣化、内部腐食等）（10件）、ガス栓誤開放（2件）が減少したものの、接続不良等（14件）、不適切使用（点火操作ミス等）（4件）が増加している。
- ・接続不良等（14件）は、顧客自身でガス機器を取替えた際の接続部の締め付け不良や接続具の誤接続、ゴム管等の差し込み不足によるものであった。
- ・CO中毒事故は、昨年に引き続き1件（軽傷、1名）発生した。
- ・作業ミスによる事故は1件に減少。ガスコンロをIHコンロに取替えた際、設置業者がガス機器の接続具のプラグ止めをしていなかったため、ガス栓を開放した際、ガスが漏えいしたものの。
- ・養生シート覆いによる事故は昨年と同数の7件発生している。

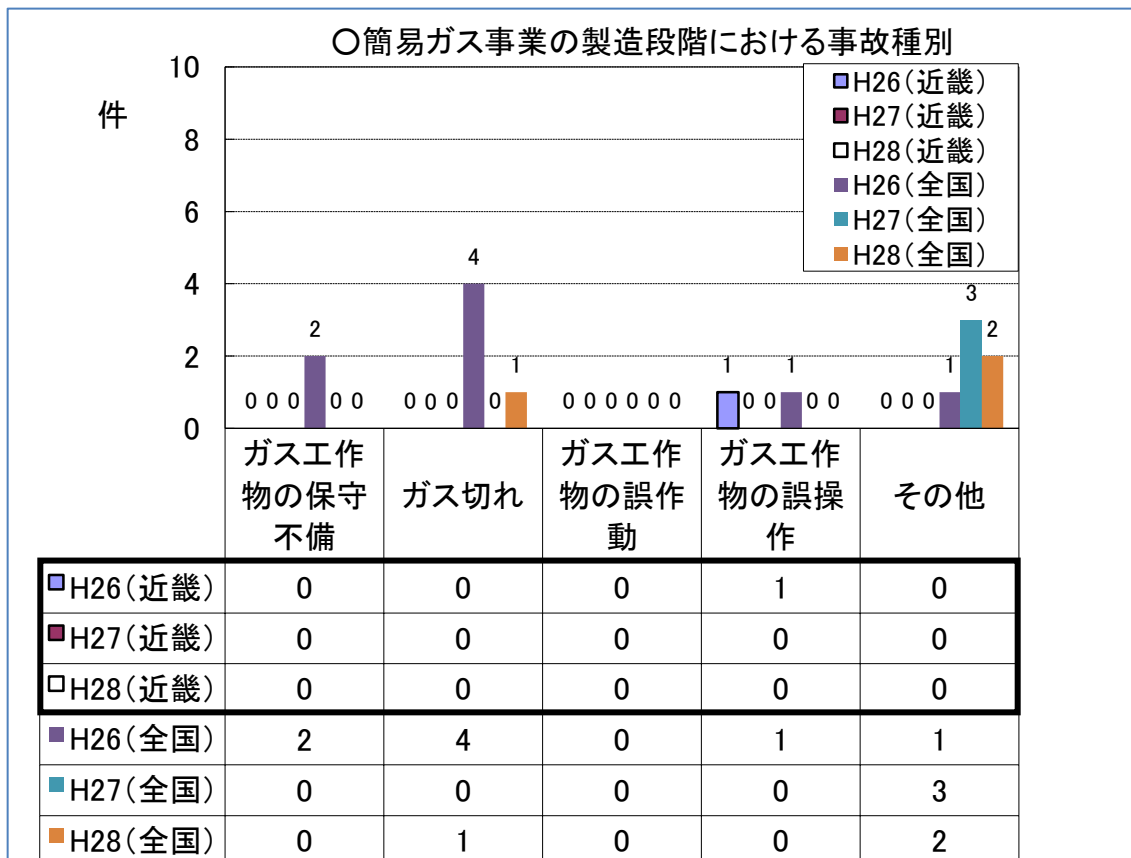
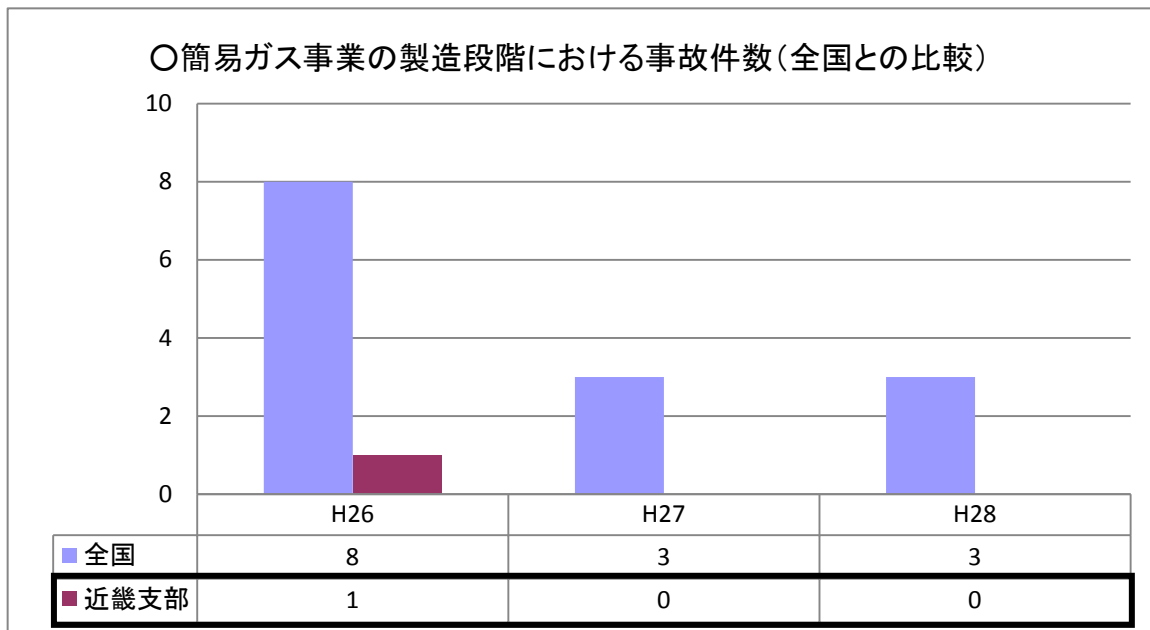
【簡易ガス事業】

1. 簡易ガス事業の段階別発生状況



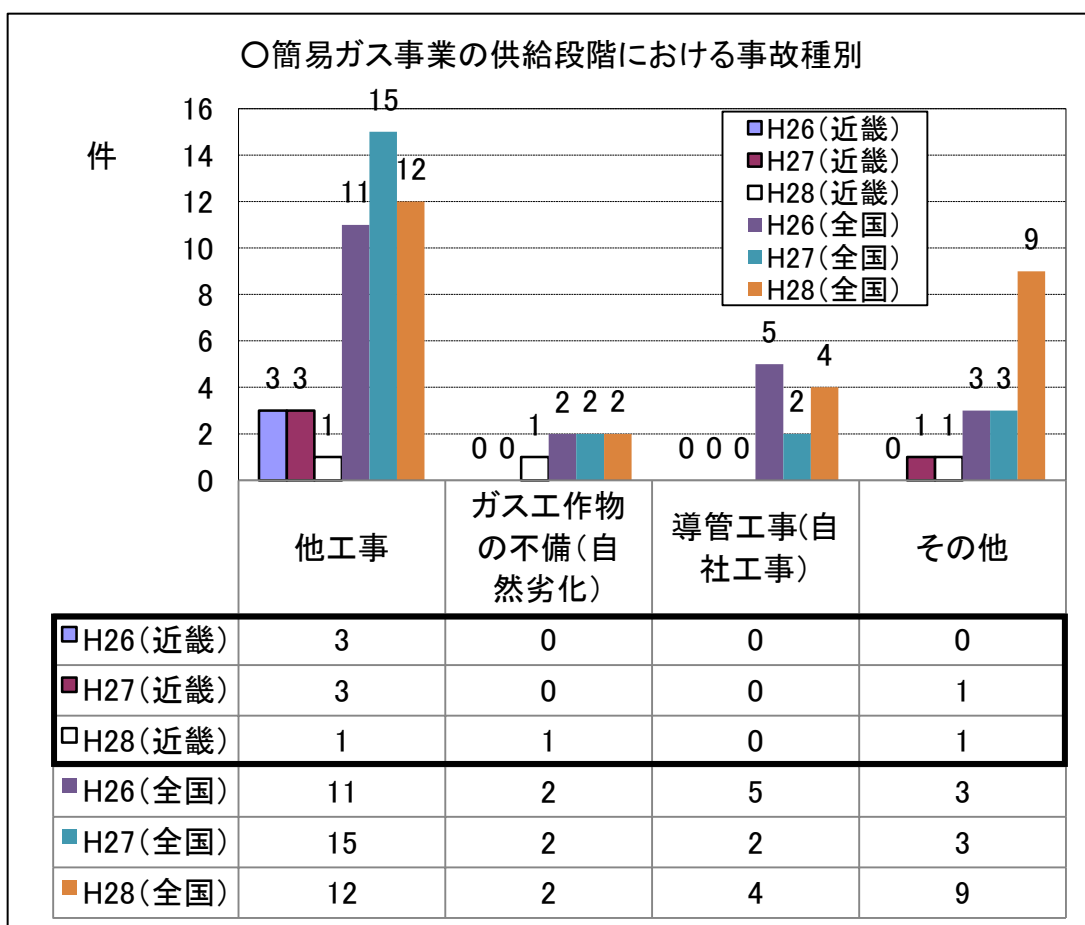
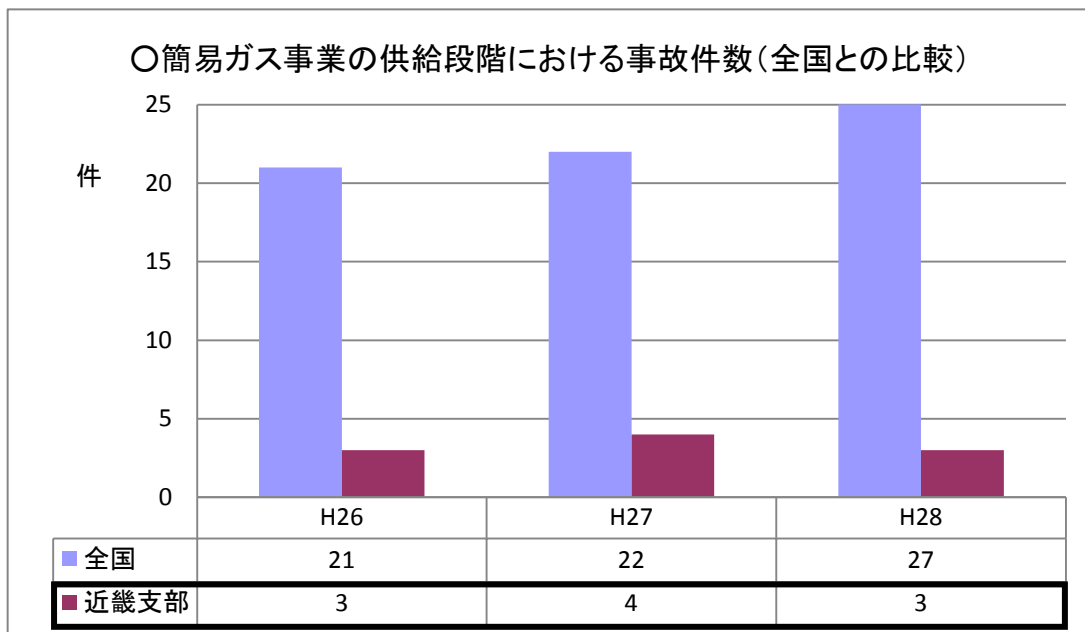
- ・ 段階別に見ると、全国では製造、消費段階の事故発生件数は減少しているが、供給段階は増加している。

2. 簡易ガス事業の製造段階の事故種類別発生状況



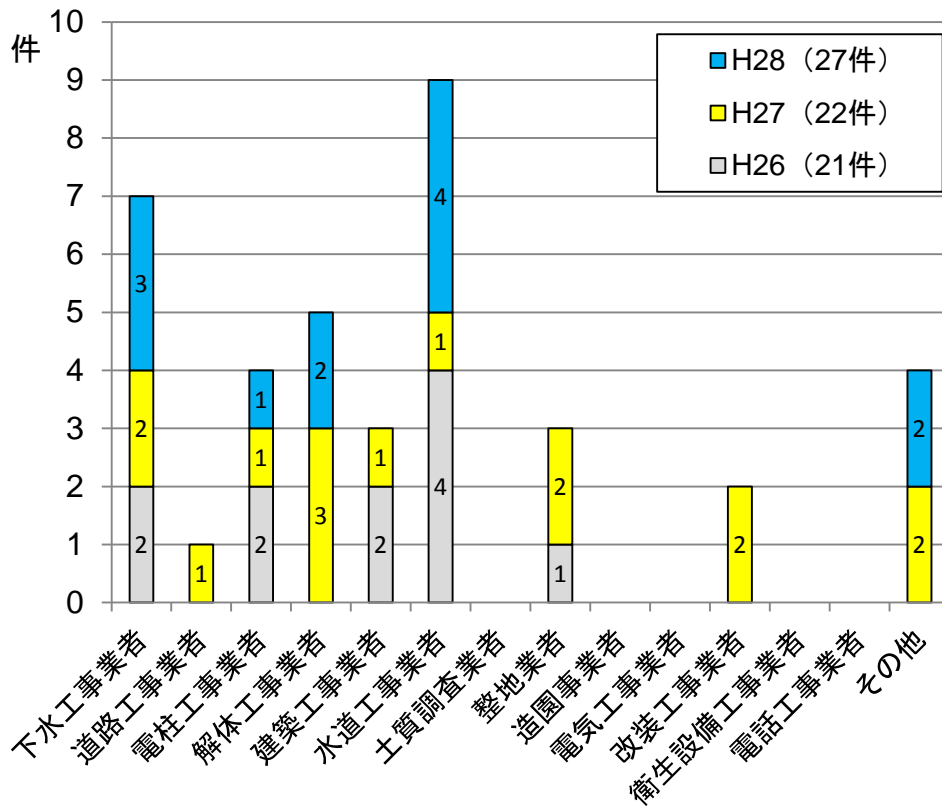
・ 製造段階（全国：3年間）では、ガス切れが大きな割合を占めている。

3. 簡易ガス事業の供給段階の事故種類別発生状況



- ・供給段階（全国）では、平成28年にその他事故が大幅に増加しているが、9件中8件は平成28年（2016年）熊本地震の発生に伴うガスの供給停止である。

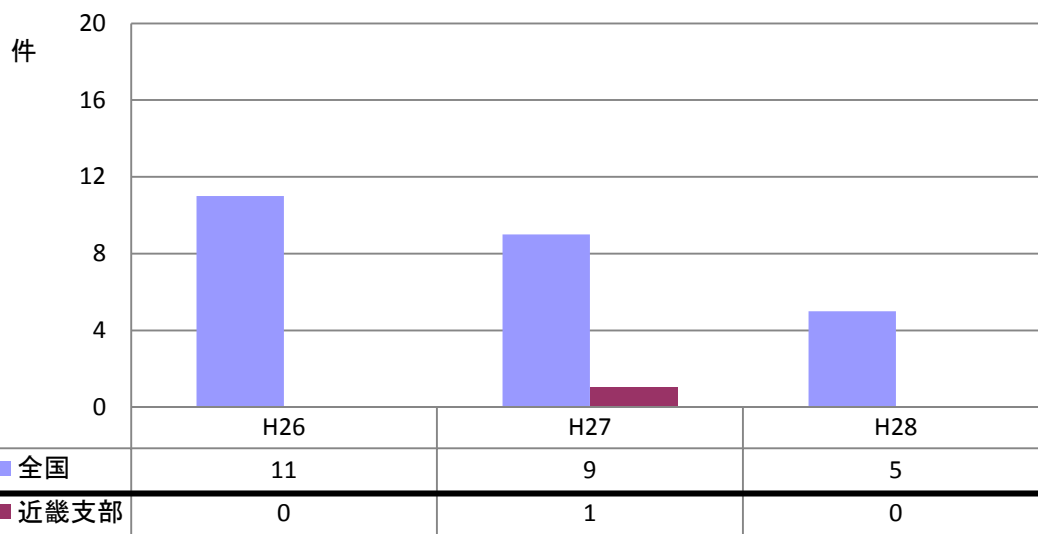
○他工事事故内訳(全国)



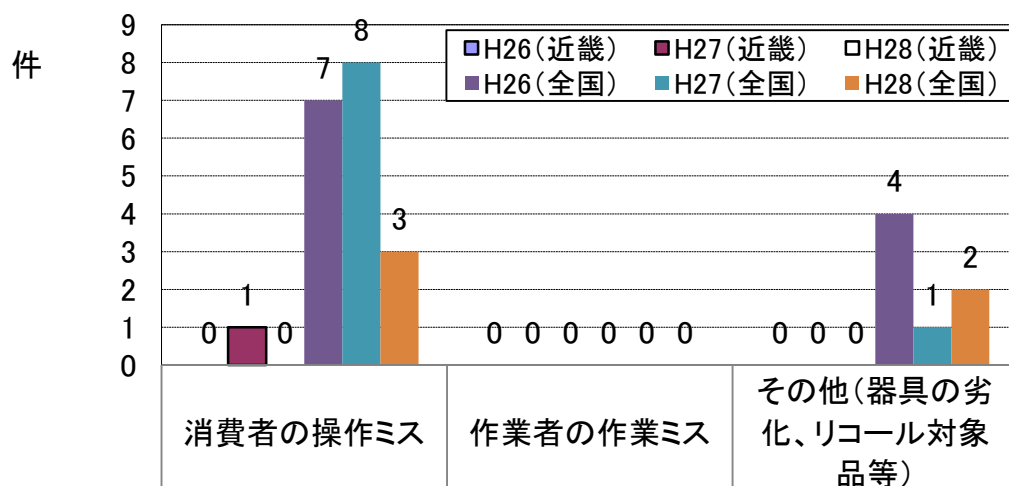
- ・平成28年度の供給段階における事故の種別は、全国的に見ると、他工事によるものが12件と全体の44%を占めている。
- ・過去3年間では、他工事事故は、水道工事業者、下水道工事業者、解体工事業者、電柱工事業者で多く発生している。

4. 簡易ガス事業の消費段階の事故種類別発生状況

○簡易ガス事業の消費段階における事故件数(全国との比較)



○簡易ガス事業の消費段階における事故種別



■ H26(近畿)	0	0	0
■ H27(近畿)	1	0	0
□ H28(近畿)	0	0	0
■ H26(全国)	7	0	4
■ H27(全国)	8	0	1
■ H28(全国)	3	0	2

- ・消費段階（全国）では、消費者の操作ミスが原因である事故の割合が高い。

関連サイト（リンク）

○消費者の皆さまへのお知らせ

【ご家庭の皆様へ（ガス安全使用のお願い）】

http://www.safety-kinki.meti.go.jp/kayaku_gas/gokatei_p.htm

○飲食店の皆さまへ

【飲食店の皆様へ（ガス安全使用のお願い）】

http://www.safety-kinki.meti.go.jp/kayaku_gas/inshokuten_p.htm

○掘削を伴う工事関係者の皆さまへ

【工事関係者の皆様へ（ガス管損傷事故防止のお願い）】

http://www.safety-kinki.meti.go.jp/kayaku_gas/koujikankeisya_p.htm

○外壁塗装工事関係者の皆様へ

【外壁塗装工事関係者の皆様へ】

http://www.safety-kinki.meti.go.jp/kayaku_gas/gaihekitosou_p.htm